

第2章 情報共有技術を利用した防災ワークショップ

2.1 はじめに

2.2 飽海町・東田町西脇二区における防災ワークショップ

飽海町・東田町西脇二区における防災ワークショップ資料編

2.3 山田町・山田石塚町における防災ワークショップ

山田町・山田石塚町における防災ワークショップ資料編

第2章 情報共有技術を利用した防災ワークショップ

2.1 はじめに

豊橋市は、平成14年4月に地震防災対策強化地域に指定されたことを受け、市域の災害危険度判定を行い、「要整備地区」として51町丁目、「優先的・重点的に整備すべき地区」として4町丁目を抽出している¹⁾²⁾。その結果を踏まえ、平成17年度は「優先的・重点的に整備すべき地区」として抽出された飽海町とそれに隣接する「災害危険度が高い」と判定された東田町西脇二区、平成18年度は「優先的・重点的に整備すべき地区」として抽出された山田町と山田石塚町にて、防災ワークショップ（以下、WS）を開催した。

通常、こうしたWSは紙地図や模型、付箋紙、マジック等を用いて実施されるのが一般的であるが、近年はCGやVR等を支援ツールとして活用した事例も多くみられるようになってきた。本WSでは、新たなWS手法として様々な情報共有技術の有効利用・連携を図り、わが街の危険度把握、危険回避方法等々について住民の認識を効果的に高めつつ、地域住民と自治体の協働体制の構築を目指した。平成17年度、18年度に実施したWSの概要は以下の通りである。

(1) 平成17年度

実施日時：平成17年8月7日（日）9：00～12：30

実施場所：飽海町・東田町西脇二区（会場：豊城地区市民館）

実施内容：WebGISを活用した地域点検マップづくり、簡易耐震診断ソフトを利用した自宅の耐震診断、延焼・避難シミュレーションシステムのデモ

協力者等：飽海町・東田町西脇二区住民（23名）、市都市計画課・防災対策課

参加機関：工学院大（実験責任機関）、豊橋技科大、消防研、東大関沢研、安全・安心マイプラン、東大竹内研

(2) 平成18年度

実施日時：平成18年7月17日（月）9：00～15：00

実施場所：山田町・山田石塚町（会場：山田公民館）

実施内容：WebGISを活用した地域点検マップづくり、延焼・避難・交通シミュレーション技術の連携による地域課題の検討、簡易耐震診断ソフトを利用した自宅の耐震診断

協力者等：山田町・山田石塚町住民（35名）、市防災対策課・都市計画課

参加機関：工学院大（実験責任機関）、豊橋技科大、消防庁（旧消防研）、東大関沢研、安全・安心マイプラン、産総研、防災科技研